Beautiful campaigns on the go
Create, edit and send in the Mailchimp mobile app
★★★★★ (7K)
GET

202507KeMCo

sent

View report

View this email in your browser

KeMCo

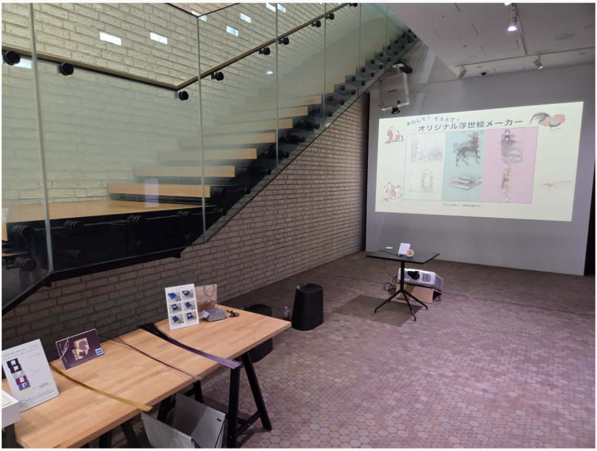
Keio Museum Commons
6/3 8/6
夢みる！歌麿
謎めく？写楽

撮影：村松桂（株式会社カロワークス）

展覧会「夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション」は大好評開催中。
本日は今まさに後期に向けて展示替えの真っ最中です。ほとんどの作品を入れ替えて、また気持ちを新たに魅力的な浮世絵をご覧入れます。後期もどうぞお楽しみください。

KeMCoの近況

【開催中】夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション



学生スタッフKeMCoM＋の企画にもご注目。
大好評のZineは日々の数量限定なので、朝早いご来館をオススメします。

蔦屋重三郎プロデュースの喜多川歌麿と東洲斎写楽を中心とした浮世絵作品約100点を一挙に出陳！

経済学者でかつて慶應義塾の塾長（代理）を務めた高橋誠一郎が収集した、「高橋誠一郎浮世絵コレクション」を紹介する展覧会を開催中です。
高橋コレクションの公開普及事業として2回目の開催となる本展覧会では、江戸時代後期を代表する浮世絵師、喜多川歌麿と東洲斎写楽の二人に着目しました。美人画の名手であった歌麿と、役者絵で名を馳せた写楽の浮世絵を主役に、二人の版元・蔦屋重三郎の関連資料や、同時代に活躍した他の絵師たちの作品も併せて紹介します。
また、今回は写楽の極めて貴重な浮世絵版画を借用し、高橋コレクションとともにじっくりと鑑賞いただけるような空間を創出しています。美人画と役者絵の競演をお楽しみください。

夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション
会期｜［後期展示］2025年7月7日（月）〜8月6日（水）［土日祝休館］11：00〜18：00
特別開館｜ 7月12日（土）、8月2日（土）
臨時休館｜ 7月3日（木）、4日（金）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学三田メディアセンター
協力｜繭山龍泉堂

※会期中に、一部作品の展示替えを行います。

各種プログラムの申し込みを受付中です

展覧会に関連したプログラムを各種予定しています（すべて参加無料、事前予約制）。
各プログラムは事前予約が必要です。ウェブサイトをご確認の上、お申込みください。

留学生向けワークショップ　浮世絵を探る：知覚から創造への旅（日本語・英語）
日時｜7月15日（火）14時～16時30分
ウェブサイトにてお申込み受付中です（定員：12名程度、**先着順**）。
※本ワークショップは、慶應義塾の留学生を対象としたワークショップです。

ギャラリートーク
日時｜各日程12時～12時45分開催。ウェブサイトにてお申込みを受付します。
◆7月18日（金）（予約受付終了。当日はご予約の方の参加優先）
◆8月4日（月）（予約受付 ：7月4日（金）正午開始）
当館学芸員によるギャラリートークを行います。どなたでもご参加いただけます。
（定員：25名程度、**先着順**）

夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション

『三田評論』7月号にコラムを掲載いただきました

「夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション」展に関連したコラムを慶應義塾の機関誌『三田評論』7月号へ掲載いただきました。
展覧会とあわせて、ぜひお楽しみください。

プロデューサー蔦屋重三郎が手がけた2人の浮世絵師、歌麿と写楽
小松　百華（慶應義塾ミュージアム・コモンズ　学芸員）

『三田評論』2025年7月号
2025年7月1日発行（慶應義塾）

※『三田評論』のご購読につきましては、単品でのご購入から年間定期購読（毎年11冊）の2つの方法をご用意しております。また、店頭販売は、紀伊國屋書店新宿本店・慶應義塾生活協同組合書籍部で行っております。
詳しくは**こちら**

カフェ八角塔×KeMCo「夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション」後期のコラボレーションメニュー

写真提供：カフェ八角塔

慶應義塾大学三田キャンパス図書館旧館内「カフェ八角塔」にて、「夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション」とコラボレーションしたメニューを提供しています。後期は東洲斎写楽画《市川鰕蔵の竹村定之進》をモチーフにしたパルフェです。

冷やし硝子菓子（パルフェ）
竹村定之進a.k.a市川鰕蔵（右）
提供期間：7月7日（月）～8月6日（水）
提供価格：900円、緑茶またはコーヒー付きセット1300円（税込）

Feedback

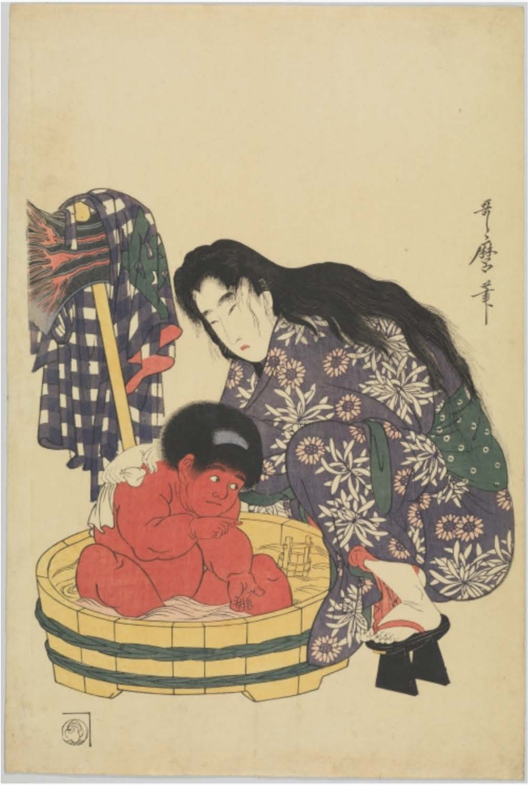
「ご寄付のお願い」ページを公開しました

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）は、公共に開かれた大学の研究機構として、展覧会をはじめとする幅広い領域に展開する活動を、原則として無料で公開しています。
一方で、社会における物価高騰を受けて、活動のための経費、とりわけシステムのインフラに係わる経費が急激に増加しています。
KeMCoが実施する、文化財・学術資料に根ざした教育・研究・普及活動およびその支援に用いるため、みなさまのご支援を賜りたく、お願い申し上げます。
ご寄付は、KeMCoが運用を委託されている全塾の文化財・学術資料の収載を目標とするシステム「Keio Object Hub」の運用経費にも充てさせていただきます。

詳細とご寄付の方法は以下ウェブページをご覧ください。

ご寄付のお願い

展示室より、推しモノ #40



喜多川歌麿画「山姥と金太郎　行水」寛政12〜文化3年頃（1800〜06）、大判錦絵、慶應義塾

　6月3日より開催している展覧会「夢みる！歌麿、謎めく？写楽―江戸のセンセーション」は、いよいよ会期の後半を迎えます。7月7日からは後期展示が始まり、展示替えにより浮世絵作品はすべて入れ替わる予定です。前期をご覧になった方も、そうでない方も、新たな魅力をお楽しみいただける内容となっております。

　今回は、後期展示の中から、涼を感じていただける一図をご紹介いたします。本図には、金太郎が桶の中で水浴びをし、山姥が背中をかいがいしく拭いて世話をしている様子が描かれています。金太郎の象徴ともいえるまさかりには着物が掛けられ、二人は楽しげに言葉を交わしているようにも見えます。日常の一コマを、山姥と金太郎という意外な組み合わせで表現している点が、この作品の大きな魅力です。

　「山姥と金太郎」シリーズを含む母子像は、寛政12年から文化3年（1800〜1806）ごろに制作された、喜多川歌麿晩年の作品に位置づけられます。美人画の名手として知られた

歌麿は、人気の高まりとともに幕府の規制を受け、やがて美人大首絵の刊行を禁じられるに至りました。その中で活路を見出したのが、母子像の制作でした。

　山姥は足柄山に住む鬼女で、かつては八重桐という名の遊女であったとも伝わります。歌麿は、本来は恐ろしい存在である山姥を、美しさを備えた金太郎の母として描き出しました。山姥と金太郎を主題とした歌麿の浮世絵は数多く残されており、当時の人気の高さを感じさせるのです。

小松百華（KeMCo学芸員）

空き地

今年は大河ドラマ「べらぼう」を意識してか、たくさんのミュージアムで浮世絵展が開催されています。まさに世は浮世絵イヤー。KeMCoで開催中の「夢みる歌麿、謎めく？写楽—浮世絵のセンセーション」も大いにべらぼうを意識しております。
本展が開幕したころのべらぼうの展開は、過去を隠したまま失踪した少年・唐丸が、染谷将太さん演じる歌麿として再登場。そして蔦重が大田南畝の元を訪れ、狂歌の面白さに目をつけ狂歌本の出版に向けて動き出す…という頃でした。本展では、「蔦屋重三郎との仕事」として喜多川歌麿が作画を担当した狂歌本を展示していますが、べらぼうとの符合、タイミングの良さに、実はKeMCo一同驚いたものでした。
本展にはあまり派手な仕掛けはありません。作品そのものの魅力を、ストイックに見せています。そしてもちろん、気前よく入場無料です。ぜひお越しください。
会場でみなさまとお会いできたら…富士より高きありがた山です。

眞下菜穂（KeMCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

「時代に生きよ、時代を超えよ」— 川口黎爾の直視

前期：6月9日（月）ー**7月5日（土）**
後期：7月9日（水）ー8月8日（金）
会場：慶應義塾大学アート・センター

ある一家の近代と戦争—上原良春・龍男・良司とその家族
6月19日（木）ー8月30日（土）
会場：図書館旧館2階 慶應義塾史展示館 企画展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2025年8月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2025 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan

INTUIT mailchimp